

(4) 小規模作業所の地域展開

県内の小規模作業所は、現在44ヶ所(H15.4.1)で、八代市のNPO法人では、障害者の作業所、保育園、高齢者のデイサービスなどを同一敷地内に開設し、お互いが交流することで共に学び育ち合うことを目指した地域共生型の取組みを始めています。

ここでは、就労の場や、社会参加できる場でもあり同時に、地域住民との交流・相互理解の場としても地域の中で大きな役割を発揮している小規模作業所を紹介します。

障害者との「共生共育」をめざす ～NPO法人とら太の会(八代市)～

障害の有無に関わらず、子どもも大人も共に学び育ち合うことを目指し、小規模作業所や保育所、学童保育など、障害者(児)や子どもと一緒に集う拠点をつくり、地域の人や賛同者に支えられて、毎日楽しく暮らしています。

【サービスの内容】

① 小規模作業所「みのり」

障害者の仲間や地域の人との関わりで楽しく作業しています。

作業日 → 原則として月曜日～金曜日(8:30～17:00)

仕事内容 → いぐさのコースター・多目的シート、ビーズ製品、名刺入れ、パッチワーク製品、木工製品、陶芸作品、新聞回収、シベリア岩塩の販売と袋詰め等

② 認可外保育所「ありんこ園」

子ども自身の経験で、障害者を思いやり、素直に受け入れるようになります。

定員 → 30名

開園日 → 月曜日～金曜日(8:30～17:00)

③ 高齢者一時預かり「ひだまり」

かわいい子どもや、素直な障害者とのふれあいの中で楽しく過ごせます。

開園日 → 月曜日から金曜日

④ 学童保育「とら太」

学校とは違う雰囲気の中で自分らしさをみつけます。

開園日 → 原則として月曜日から金曜日(下校時～18:00)



【子どもや障害者、ボランティアが共に作業している光景】

子どもに囲まれた小規模作業所 ～NPO法人カサ・チコ(熊本市)～

障害者の小規模作業所と子どもの一時的預かりが同一場所で実施され、障害者(児)や子どもが一緒に集う拠点となっています。

【取り組むきっかけ】

近くの住宅(秋津レークタウン)に住む人々との交流活動や、病院の除草作業等のボランティア活動など、地域の人々とふれあう機会も多く、地域の人々への障害に対する理解促進にもつながっています。

【サービスの内容】

① 小規模作業所

障害者の仲間や地域の人との関わりで楽しく作業しています。

作業日→原則として月曜日～金曜日(8:30～17:00)

仕事内容→木工作業

- ・テーブル、椅子、下駄箱などの造作家具
- ・看板、室内かざりなどのトールペイント



② 子育て支援

子ども自身の経験で、障害者を思いやり、素直に受け入れるようになります。

○ 児童等の一時預かり

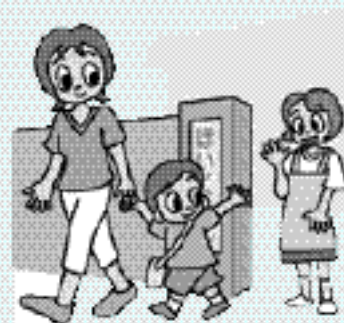
- ・幼児の保育園の迎え及びその後の預かり
- ・児童の学童保育後の預かり

○ 児童の放課後生活支援

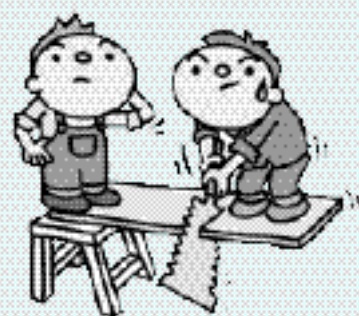
- ・病院受診の引率、塾・習い事の準備及び送迎

○ 木工教室及びトールペイント教室の開催

- ・児童の休暇中の物づくり支援



【トールペイントの作業風景】



水保・ほっとはうすに集まれ ～社会福祉法人さかえの社(水保市)～

胎児性水保病患者、障害を持つ人、様々な市民が最も自然に交流できる場、働く場として、平成10年11月、共同作業所「ほっとはうす」が開設されました。

訪れたある人は、言われてました。「水保で会いたい人に会えるほっとはうすは、水保の交差点のような場所」と…。

【活動内容】

① 喫茶・販売コーナー

- ・コーヒー、ジュース、軽食など
- ・本、ポップ、押し花作品、石けん類など
- ・音楽会、会議、各種イベントに出前喫茶コーナー

② 作業コーナー

押し花作りと菜、コースター、ラベンダーポップ、押し花入り名刺作り

③ 水保病を伝え、記録する事業

- ・「水保病を伝えるプログラム」の学校、地域への出前授業
- ・教育旅行の受入
- ・本人、家族の水保病被害の記録

【スタッフの声】

「胎児性水保病患者(障害者)の中で一番若い人は昭和38年生まれの40才。脳性マヒの障害を持つ女性(20才)も通所しており、障害の種別を超えて、誰もがふれあい、その人らしい生活ができるようになったときが、水保病の教訓が活かされたときと考えています。彼女の存在が新境地を拓くことを期待しています。」



【みんなが集う温かい喫茶店】
(ほっとはうす)



【みんなでおしゃべり】

「来民うちわ」と「八代い草」でまちづくり ～小規模作業所伝承塾(鹿本町)～

鹿本町の小規模作業所「伝承塾」では、八代地方特産の「い草」を材料として、県伝統工芸品「来民うちわ」を作っています。

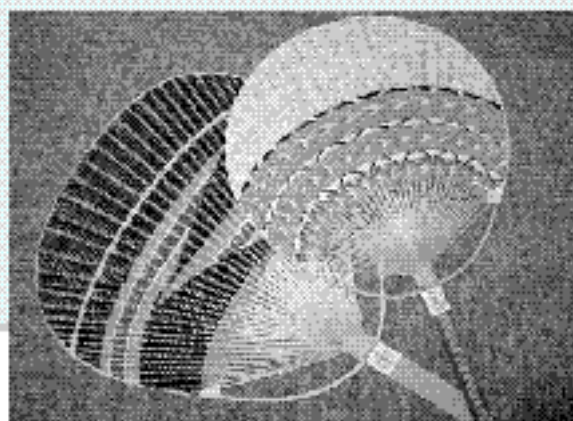
材料のい草は、八代地方から幾種類もの色で染め付けたものを取り寄せ、それを伝承塾の皆さんが一つ一つ手作りでうちわの骨に編み込んでいき、彩り豊かなデザインのうちわへと仕上げていきます。

夏場の贈答品や家の新改築の際のインテリアを飾る贈り物等として、販路を拡大することにより、伝統工芸の振興に繋がるとともに、在宅でも作業が可能なおことから障害のある方への就業の機会拡大が期待され社会参加の推進が図れています。

平成13年11月から製作を始めましたが、色染めのい草を使用したり、デザインを工夫するなどの改良を加え、鹿本水辺プラザをはじめとして、玉名市内や八代郡内で販売を開始するなど、本格的に伝統工芸品としての販売を開始しています。

【スタッフの声】

「障害者の方に洗うちわづくりの工程の中での作業を行っていただき、将来的には郷土伝統の来民洗うちわの後継者の育成ということも視野に入れています。」とのこと…。



障害があっても地域に役立ちたい「クリーン活動」

～共同作業所銀河カレッジ(宇土市)～

銀河カレッジの利用者が、「障害を持っていても地域住民の一人として役立つことがしたい。」との思いで、JR宇土駅のクリーン活動を平成13年3月から始め、活動回数が100回を超えています。

このクリーン活動は、施設利用者の一人が鉄道ファンだったことから、「駅の清掃活動なら興味を持ってくれるのでは…」と思い、始めました。

毎週水曜日の午前中、利用者3人が職員と一緒に交代で通い、待合室の掃き掃除から始め、中央に置いてあるテーブルや椅子、カウンターをぞうきんで拭いた後、駐車場に落ちているごみを拾い集めています。

【スタッフの声】

「駅員さんや乗降客から声を掛けてもらったりするので参加者も喜んでいるし、励みにもなっている。何よりも毎週通う場所があることはうれしいことです。」

藍染めで地域づくり ～NPO法人やじろべえ(有明町)～

心身障害者に対して通所援護に関する事業や、心身に障害を持つ児童の土曜日及び長期休暇中の一時預かり事業、障害者及びその家族への相談事業等を行うことによって、心身に障害を持つ方及びその家族の方々の生活の質の向上を願い、活動しています。

また、作業所において、藍染めを中心とした染め物や布小物袋、廃油石けんやシモン芋・シモン粉づくりなど様々な活動を行うことによって、障害を持つ方が働こうという意欲づくりと地域との交流及び社会参加を目指しています。

対 象 者 → 心身障害者、心身に障害を持つ児童生徒

利用時間 → 9:00～15:00

利 用 料 → 年間利用者…月額10,000円(心身障害者)

長期休暇・土曜日利用…日額500円(心身障害児)

豊かな大地で自立をめざす「ふいーんど」 ～共同作業所ふいーんど(鹿央町)～

ふいーんどの名前のとおり鹿央町の豊かな大地で、身体・知的・精神に障害のある方々が、農作業や木工品の制作をとおして楽しく自立と社会参加を目指しています。

また、地域の高齢者の方のいきがいくりの場としても利用されるなど、地域住民の交流拠点としていつも楽しい笑い声が響いています。

【サービスの内容】

農作業、木工品・工芸品・手芸品の製造・販売

利 用 者 → 障害のある方(身体・知的・精神)、
地域住民の方

利 用 日 → 月～金曜日(9:30～15:30)

販 売 先 → 鹿央町物産館、鹿本水辺プラザ、
七城メロンドーム
旭志四季の里、フードバル(熊本市)



障害児と健常児との交流 ～任意団体トライハウス(熊本市)～

養護学校・特殊学級の在校生に対し、土・日曜日及び春・夏・冬休み等の長期休暇時一時預かりと健常児の学童保育的な預かりを行い、障害児と健常児の交流を図るとともに、ボランティア育成と障害を持った方に対する理解の促進を図っています。

県外の事例も紹介

地域密着「神の家」「べてるの家」～社会福祉法人浦河べてるの家(北海道浦河町)～

「べてるの家」は、おもに精神障害者が地域で活動するための、小規模通所授産施設が2ヶ所、共同住宅1ヶ所、介護ショップのお店1ヶ所から成り立っています。

地域密着が基本姿勢で、多種多様な事業に、全国各地から集まった16才から70才までの約150名余の人材を抱える地域の重要なサービス拠点となっています。

【べてるの家の理念】

① 利益のないところを大切に

利益につながらない部分を大切にすることにより本当の利益が生まれる

② 安心してサボれる会社づくり

働くメンバーの誰かが調子が悪くても、他の誰かがサポートにまわる

③ べてるの繁栄は地域の繁栄

地域の特産品を使ったり、地域社会のために貢献できることは何か、常に模索

④ 安らぎへのお手伝い

地域の人たちが、安らぎを持った生活をおくれるよう支援

⑤ 三度の飯よりミーティング

ミーティングで自分を表現し、他者を理解する機会を重要視

【活動の内容】

●小規模通所授産施設

- ① うまいもん事業部→特産の日高昆布の加工・販売
- ② OA事業部→文書入力、グッズ販売
- ③ 出版事業部→「べてるの家の本」をはじめ、10数種のべてるの関連本の販売
- ④ ビデオ事業部→ビデオ「精神分裂病を生きる」の販売促進
- ⑤ 地域ふれあい事業部→食肉・本の配送、イベントの企画、運営チケット販売

●共同住宅

精神病回復者の住まい

●福祉ショップべてる

介護ショップのお店の運営、介護レンタル事業、作業所・共同住宅の建物の維持管理、日赤病院の委託業務等

【サービスプラス1】

- ① 暮らしの支援として、ヘルパーによる家事援助、病院からの外出・同伴、買い物への同行サービス
- ② 当事者の働く現場に出向きサポートする就労支援
- ③ 子育てに励む当事者のサポートを行う家族支援

パソコンのことなら
あまがせ。

